



広報

あつま

2014. NOV

11

No.747



本郷

中山 なかやま

睦基 むつき

睦基さん(29歳)

昔ながらの炭焼き技術の習得を目指す

9月29日に委嘱を受け、地域おこし協力隊・林業支援員として活動を始めた中山睦基さん。中山さんは札幌市出身。9月に移住してきたばかりだ。

中山さんが林業支援員への応募を決めたのは、「支援員になる前は輸入木炭販売の会社に勤めていたのですが、そこで、炭にもいろいろな種類があることや同じ種類でも質が全然違うことを知ったんです。そこから、もっと木炭についての知識を深めたい、そしてゆくゆくは自分の手で木炭を作ってみたいと思っただけです」と話す。

その夢を叶えるべくインターネットで情報収集していたところ、厚真町が良質な木炭の産地であること、そして、木炭製造の研修を受けられる林業支援員の募集をしていることを知ったという。

現在は、町内の製炭業者で精力的に研修に励んでおり、炭焼

き窯での「炎」の色や立ち昇る「煙」の状態による燃焼温度の見極め方などを学んでいるそう。「厚真町では昔ながらの職人による炭焼きの技術が継承されています。私も、その技術をなんとしてでも習得したい」と、意欲を燃やす。

厚真町の印象は、「自然が豊かで、のどかな良い町」とのこと。「札幌での暮らしが長く、自然に近いところでの暮らしに憧れていたため、その願いが叶いました」と話す。

休日の過ごし方は、「もっぱら、平日にたまった掃除や洗濯などの家事に追われています」と笑みを見せた。また、インターネットも良い気分転換になっているとのこと。

今後の活動については、「地域おこし協力隊の隊員として、町民の皆さんに早く顔や名前を覚えていただき、少しでも早く厚真町になじめるよう、いろいろな活動に参加していきたい」という中山さん。「林業についても、山から切り出された木が木炭になるまでの一連の流れを学ぶために、木炭製造だけでなく、森林での生産活動全般についても学んでみたいですね。」

のちの後の十三夜

(撮影日・場所：11月5日・軽舞)



写真提供：河村敏弘さん(軽舞)

旧暦8月15日の十五夜(中秋の名月)と旧暦9月13日の十三夜(豆名月・栗名月)は名月といわれ、この2つを併せて見るのが古くからの習わしです。しかし今年は、この2つに加え、3つ目の名月「後の十三夜」が171年ぶりに現れました。

旧暦と現在の暦には日数のずれがあり、約3年に一度、閏月を入れて暦を調整するそう。今年はその補正の年で、9月の後に閏9月が入ったため旧暦9月13日が11月5日に再び現れ、2回目の十三夜が見られることとなりました。

1年に3つの名月が見られるのは1843年(天保14年)以来で、北海道の名づけ親である松浦武四郎が蝦夷地探検に出発する前の年のこと。

なお、次に「後の十三夜」が現れるのは、95年後の2109年とのこと。

『まちかど歳時記』では、地域の行事情報や風景等の写真を募集しています。ぜひお気軽に、お住まいの地域の行事情報や風景等の写真をお寄せください。まちづくり推進課企画調整グループまで。(☎27-3179)



今月の内容

- ☒ I LOVE あつま・人口・世帯数 … 2～3
- ☒ マチの家計簿 … 4～5
- ☒ 安平・厚真行政事務組合 … 6
- ☒ 気象台からの防災メモ … 7
- ☒ まちの話題 … 8～11
- ☒ 「児童扶養手当法」の一部が改正されます … 12
- ☒ 2014厚真町応援大使交流イベント
矢貫俊之選手トークショーを開催 … 13
- ☒ 各種お知らせ … 14～15
- ☒ みんなの広場 … 16～17
- ☒ まなびや … 18～19
- ☒ 健康情報・ほけんの掲示板 … 20～21
- ☒ 情報ひろば … 22～23



今月の表紙

10月21日、こども園つみき(宇佐美修一園長)で「サツマイモ掘り」が行われました。

園庭に作られた畑で、園児たちは力を合わせてサツマイモのツルを引き抜き、手を泥だらけにしなが、土の中から立派に育った大きなサツマイモを掘り出していました。



2014年11月 NO. 747

10月31日現在の人口
4,702人(前月比 -6)
男 2,312人 / 女 2,390人
世帯数 2,100(前月比 -3)

特別会計の状況

市町村の財政には「一般会計」と「特別会計」の2種類があります。

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」と、その使い道を示す「歳出」の2つから成り立っています。

特別会計は、市町村が行っている特別の事業に対して、支出や収入を分かりやすくするために、一般会計と分けて経理するものです。厚真町では現在、6つの特別会計があります。



防火パレードに参加のこども園つみき園児ら

(単位：円)

特別会計名	予算現額	収 入		支 出	
		収入済額	収入率%	支出済額	執行率%
国民健康保険事業	671,947,000	231,017,866	34.4	297,272,576	44.2
介護保険事業	484,286,000	182,411,457	37.7	182,106,452	37.6
介護サービス事業	33,188,000	1,245,651	3.8	18,445,345	55.6
簡易水道事業	1,126,610,000	53,771,721	4.8	341,656,234	30.3
公共下水道事業	180,667,000	21,672,100	12.0	72,767,196	40.3
後期高齢者医療	85,415,000	20,917,710	24.5	18,789,019	22.0

地方債の状況

国などから借り入れた長期間の借入金をいいます。

区 分	金 額
一 般	75億971万9千円
簡易水道事業	14億4,736万円
公共下水道事業	12億7,310万2千円
合 計	102億3,018万1千円
H26.3末対比	5億5,399万9千円

※地方債のうち、内容によっては返済額の一部が地方交付税で補てんされるものもあります。

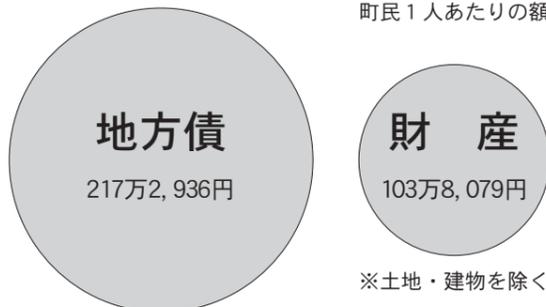
一時借入金の状況

一時的に金融機関から借り入れして支払いに充てるお金をいいます。

区 分	金 額
一般会計	無 し
特別会計	無 し

地方債と財産の比較

町民1人あたりの額



財産の状況

財産は、出資による権利、債権、土地・建物のほかに、特定の目的のために準備しておく元手の資金をいう基金があります。
※土地開発基金には、貸付金が含まれています。

区 分	金額(千円)
出資による権利	178,023
債 権	204,479
基金	4,504,772
財政調整基金	1,349,335
減債基金	254,769
地域振興基金	583,395
緑化事業基金	42,441
文化振興基金	18,205
水基金	1,176,491
土地開発基金	139,670
総合ケアセンター維持運営基金	52,762
庁舎建設基金	321,288
中村教育振興基金	3,050
公共施設維持補修基金	78,322
エンゼル基金	85,906
簡易水道基金	47,971
公共下水道基金	59,842
国民健康保険給付費等支払準備基金	37,066
介護保険給付費等支払準備基金	36,905
高齢者グループホーム維持運営基金	878
石油貯蔵施設立地対策等基金	0
担い手育成夢基金	113,354
大型開発跡地等環境保全基金	98,122
幅田榮佐久児童福祉基金	5,000
基金計	4,504,772
合 計	4,887,274
H26.3末対比	424,283

土 地	25,072,872.39㎡
建 物	84,181.88㎡

一般会計の状況

歳 入

(単位：円)

	予算現額	収入済額	収入率%
町 税	1,623,678,000	890,505,826	54.8
地方譲与税	88,000,000	22,308,000	25.4
地方消費税交付金	64,000,000	34,722,000	54.3
地方交付税	1,739,947,000	1,174,358,000	67.5
分担金・負担金	48,804,000	7,118,280	14.6
使用料・手数料	100,146,000	46,476,933	46.4
国庫支出金	434,648,000	63,108,875	14.5
道支出金	586,545,000	30,929,925	5.3
財産収入	45,565,000	28,463,793	62.5
繰入金	212,542,000	80,000	0.04
繰越金	70,255,000	128,012,213	182.2
諸収入	157,762,000	30,411,697	19.3
町 債	639,506,000	0	0.0
その他	50,010,000	29,938,000	59.9
歳入合計	5,861,408,000	2,486,433,542	42.4

歳入のその他の内訳

	予算現額	収入済額	収入率%
利子割交付金	1,200,000	485,000	40.4
配当割交付金	500,000	253,000	50.6
株式等譲渡所得割交付金	100,000	0	0.0
自動車取得税交付金	11,000,000	3,208,000	29.2
地方特例交付金	1,200,000	1,387,000	115.6
交通安全対策特別交付金	1,000,000	418,000	41.8
寄附金	35,010,000	24,187,000	69.1
その他計	50,010,000	29,938,000	59.9

歳 出

(単位：円)

	予算現額	支出済額	執行率%
議会費	52,596,000	28,436,371	54.1
総務費	333,901,403	99,437,343	29.8
民生費	915,824,400	277,394,645	30.3
衛生費	254,345,027	90,684,813	35.7
労働費	28,742,000	14,971,693	52.1
農林水産業費	488,311,000	106,821,881	21.9
商工費	113,122,000	64,477,666	57.0
土木費	885,282,000	132,793,033	15.0
消防費	287,778,000	138,204,399	48.0
教育費	781,737,880	297,271,498	38.0
公債費	918,837,000	455,724,325	49.6
給与費	792,186,000	381,420,141	48.2
予備費	8,745,290	0	0.0
歳出合計	5,861,408,000	2,087,637,808	35.6

皆さんに納めていただいた税金や国・道からのお金は、どのくらい使われているのでしょうか。
地方自治法および町条例の規定に基づいて、今年9月末現在の平成26年度各会計の歳入・歳出、地方債、財産の状況についてお知らせします。

マチの家計簿

一般会計、特別会計を合わせた予算84億4,352万1千円を町民1人あたりにすると、179万3,441円です。

1世帯あたりでは、401万4,989円になります。

◆町の人口

人 口 4,708人
世帯数 2,103世帯

(平成26年9月末現在)

気象台からの防災メモ

【問い合わせ】
室蘭地方気象台
☎0143-22-4249

暴風雪について



災害に備えて最新の気象情報をチェック！

気象台では、雪を伴う暴風によって重大な災害が発生するおそれがある時に「暴風雪警報」を発表します。

さらに、数年に一度の暴風雪が予想される場合には、危機感を伝えるため「数年に一度の猛ふぶきとなるおそれがあります。外出は控えてください。」のキーワードを用いた気象情報を発表し、「暴風による重大な災害」に加えて「ふぶきや吹き溜まり等による重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかけます。

最新の気象情報をチェックし、できる限り外出を控えましょう。



やむを得ず車で外出する際にはしっかり備えを！

やむを得ず車で外出する場合には、ふぶきや吹き溜まり等によって車が動けなくなることも想定し、防寒着や非常食、スコップ、けん引ロープ等の用意や燃料を確認しましょう。



危険を感じたら、無理せずにコンビニ等へ避難 普段から食料・飲料水の確保と停電への備えを

運転をしていて、ふぶきにより視界が急に悪化する等危険を感じたら、コンビニやガソリンスタンド、道の駅等で天気のを待ちましょう。

また、普段から食料や飲料水等を確保しておくほか、念のため停電に対する準備もしておきましょう。



◆お知らせ

■せん定枝の無料回収が11月で終了します！

11月末日をもって、せん定枝の資源化回収が終了し、12月から翌年3月は『有料』扱いになります。毎週火曜日に、もやせるごみ用（赤色）の有料指定袋を巻きつけて、ステーション横に出してください。

■年未年始のごみ収集・自己搬入受け入れについて

年未年始の休みは、12月31日（水）から1月4日（日）までの5日間です。この期間、収集および自己搬入の受け入れはいたしませんのでご注意ください。1月5日（月）から、ごみ収集（生ごみ）と自己搬入受け入れを行います。

財政状況

地方自治法の規定に基づいて、平成26年9月30日現在の安平・厚真行政事務組合会計の歳入・歳出、財産、地方債の状況についてお知らせします。

予算の執行状況（平成26年9月30日現在）（単位：円）

歳入	予算現額	収入済額	収入率(%)	備考
分担金及び負担金	252,123,000	126,063,000	50.0	(予算現額内訳) 安平町:164,060千円 厚真町:88,063千円
使用料及び手数料	36,804,000	13,501,525	36.7	ごみ処理手数料、大型ごみ処理券、有料指定ごみ袋売払い等
財産収入	5,200,000	380,948	7.3	アルミ・スチール缶、鉄くず等売払い等
繰入金	1,000	0	0.0	
繰越金	1,000	605,368	60,536.8	平成25年度繰越金
諸収入	8,000	2,659,742	33,246.8	平成25年度再商品化合理化抛出金等
歳入合計	294,137,000	143,210,583	48.7	

歳出	予算現額	支出済額	執行率(%)	備考
議会費	164,000	58,275	35.5	組合議会経費
総務費	24,593,000	11,298,497	45.9	事務局職員人件費、事務費等、組合監査委員経費
衛生費	229,890,000	98,226,031	42.7	ごみ処理委託、処理場維持管理費、苫小牧市広域負担金等
公債費	38,490,000	19,244,360	50.0	施設整備のため国などからの借入金の償還
予備費	1,000,000	0	0.0	
歳出合計	294,137,000	128,827,163	43.8	

地方債の状況（平成26年9月30日現在）

地方債とは、一定の基準を満たす事業の財源として、組合が国などから借り入れた長期的な借入金です。

区分	残高
一般廃棄物処理事業債 最終処分場適正閉鎖事業(H15~16)およびストックヤード施設整備事業(H21~22)の償還	63,564千円
道貸付金 ごみ搬出設備改造事業(H13)の償還 (平成26年3月に全額償還済み)	0千円
合計	63,564千円

組合財産状況 ※物品は、購入金額100万円以上を記載しています。

建物	面積	内容
2,264.12㎡	塵芥(じんかい)処理場 洗車場汚水処理設備 ストックヤード(キャノピー) 有機物供給センター 保管庫	
4台	物品 車両	公用車 ホイールローダー 油圧ショベル フォークリフト
31,781千円	基金	廃棄物処理施設整備基金

10月のまちの話題

避難所での対応あなたならどうする？

日本建築学会北海道支部が町民防災講座「HUG」を開催

10月4日、日本建築学会北海道支部主催（厚真町共催）による町民防災講座「HUG」が総合福祉センターで開催され、町防災マスターや小・中学校教職員をはじめ、保育士、町職員、消防職団員、社会福祉協議会職員、一般町民など約40人が参加しました。

HUGとは、H（避難所）U（運営）G（ゲーム）の頭文字を取ったもので、避難者の年齢や性別、国籍、事情などが書かれたカードを、避難所に見立てた平面図に適切に配置できるか、また、避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応し、避難所運営を行っていくかを模擬体験するゲーム。

今回は、総合福祉センターを避難所に想定。参加者は、町防災アドバイザーの定池祐季さんから説明を受けた後、グループごとに実際に館内を見学し、平面図を用いて部屋割りを考えました。その後、さまざまな事情が書かれた避難者カードを使ってゲームを開始。実際の災害時同様、カードに書かれたさまざまな出来事を瞬時に判断・決定していかなければならない状況の中、途中で優先させなければいけない事項も追加され、真剣な面持ちでいろいろな意見を出し合ったり話し合ったりしながら、避難所運営のシミュレーションを行っていました。

また、講座では町栄養士が栄養価を考え、厚真産食材を活用した防災食「おふくろみそを使ったピラフ」作りも行われ、無洗米や具材、スープを高気密袋と呼ばれる袋に入れて調理。講座の最後には試食昼食会が行われ、参加者は、初めて食べる防災食に興味津々の様子でした。



意見を出し合い、シミュレーションする参加者

ライター遊びや危ない花火遊びはしません 厚真消防団女性消防が防火教室を開催

胆振東部消防組合厚真消防団女性消防による防火教室が、10月7日（宮の森保育園）と10月21日（こども園つみき）に行われました。

女性消防は例年、独居老人宅への防火査察を行っていますが、今年はそれに加え、新たなPR活動として、園児を対象とした防火教室を実施。

こども園つみきでは、女性消防団員5人が来園し紙芝居を披露した後、園児たちと「ライターやマッチで遊びません」「危ない花火遊びはしません」の2つの約束を交わしました。また、防火に関するクイズも出され、防火について楽しく学ぶひとときとなりました。



防火クイズ、全部正解できたかな？

班長の山口純子さんは「初めての試みでしたが、皆さんに良かったと言ってもらえて良かったです。今後女性消防の活動を広めるため、いろいろなことに取り組みたいです」と話していました。

稲刈り・こくわ狩りで秋を満喫 田んぼのオーナー稲刈り体験

10月5日、町観光協会主催の「田んぼのオーナー稲刈り体験」が幌内の圃場で開催され、オーナー登録をしている親子連れなど約100人が参加しました。

参加者らは、春に自分たちが植えた苗が天候に恵まれて豊作となった様子を笑顔で浮かべ、黄金色に輝く稲穂を取り取り稲刈りを行いました。参加者の一人は「毎年この稲刈りを楽しみにしています」と話していました。

稲刈りの後は、町内の果樹園でこくわ狩りも行われ、参加者は豊穡の秋を満喫していました。



田んぼに入り稲刈りをする参加者



J A とまこまい広域農協が 学校給食用に新米を寄贈

9月30日、JAとまこまい広域農協共同組合の秋永徹代表理事組合長らが町長室を訪れ、宮坂町長と兵頭教育長に新米の厚真産さくら米（ななつぼし）50kgを寄贈しました。

秋永組合長が「今年も天候に恵まれ、味のいいおいしいお米ができました。ぜひ学校給食に使ってください」と米袋を手渡し。宮坂町長は、「今年も楽しみにしていました。収量・品質・食味がすべてそろったお米を子どもたちに楽しんでもらいたいと思います」とお礼を述べました。寄贈されたお米は、10月2日の給食で提供されました。

スポーツの秋・こども園つみきでマラソン大会

こども園つみき（宇佐美修一園長）のマラソン大会が10月10日、つたえり公園（京町）で行われました。

時折雨が降る寒空の下、園児たちは、応援にかけつけた保護者や先生たちからの声援を受けて力いっぱい走っていました。また、最後まで頑張ってお友だちに、園児たちからも「がんばればがんばれば!」と、大きな声援が送られていました。

表彰式では手作りのメダルが授与され、園児たちはうれしそうに園長先生からメダルを受け取っていました。

厚真川左岸河川敷でコスモスの種採り

10月20日、厚真川左岸の河川敷でコスモスの種採りが行われ、約20人が参加し、背の高さほどもあるコスモス畑に入りながらコスモスの種を一つひとつ丁寧に採取しました。

コスモスの種まきと種採りは、2004年から花フレンズの会員らが中心となって行われている美化活動。

採取した種子は、花フレンズ会員によって乾燥され、来年春にまく種の一部として使用されます。



交通安全旗を寄贈
共和地区で高規格道路の橋梁補修工事を行っている勝幸辰建設株式会社（苫小牧市）の職員が10月10日、役場を訪れ、地域貢献事業の一環として、町公式キャラクターあつまるくんがデザインされた交通安全旗20枚を厚真町交通安全推進委員会へ寄贈しました。あつまるくんの絵が入っていることで、さらに交通安全に気をつけていただけるのではとのこと。この交通安全旗は、学校周辺などを中心に町内各地に掲揚される予定です。



胆子連スポーツ交流会で 厚子連のチームが準優勝!
10月26日、第42回胆振地域子ども会スポーツ交流会がスポーツセンターで開催され、室蘭市、苫小牧市、登別市、洞爺湖町、むかわ町、安平町、厚真町の子ども会所属の小・中学生14チーム・約70人がミニバレーボールで交流を深めました。試合では熱戦が繰り広げられ、厚真町から出場した「ミラクルS・A」（中村寛子監督）が、小学生の部で準優勝に輝きました。



真剣な表情でお面作り。上手にできたかな？

今年も楽しくハロウィンパーティー

町教育委員会主催のハロウィンパーティーが10月24日、総合福祉センターで開催され、町内の小学生約100人が参加し、楽しいひとときを過ごしました。今年も近隣市町などからALT（外国語指導助手）が参加。また、厚真高校の生徒たちもボランティアで参加し、ALTらと一緒にパーティーを盛り上げました。

参加した子どもたちは、それぞれに工夫を凝らしたハロウィンらしい衣装を身にまとい、フェイスペイントや風船割り、キャンディーリレー、お化け屋敷などのゲームを楽しんでいました。

小学生が文化祭で交流を深める

厚真町教育研究会主催の「厚真町小学校文化祭」が10月30日、上厚真小学校で開催され、各学校の児童が学習の成果を発表しました。

上厚真小学校は器楽と全校合唱、厚真中央小学校は鼓笛演奏と全校合唱を披露し、児童や先生、観覧の保護者らから大きな拍手が送られていました。また、最後には両校の児童全員による全体合唱「やあ！」が披露され、児童たちは声と心をつなげて、大きな声で歌っていました。

閉会后、いじめ防止に関する各校の取り組み発表が行われ、代表児童が学校で実施しているいじめ防止の取り組みについて発表しました。



両校の児童が声と心を合わせて全体合唱



一斉にスタートし会場を駆け抜ける参加者

完走目指し力走 ふれあいマラソン大会

10月13日、第15回健康ふれあいマラソン大会がスポーツセンター周辺を会場に開催され、約150人が参加し、心地よい汗を流しました。

距離は、小学生・中学生女子・一般女子が3km、中学生男子・一般男子が5kmのコースで行われ、午前10時に一斉スタート。当日は曇天で少し肌寒い中、選手たちは自分のペースを守りつつも、完走と新記録樹立を目指してゴールに向かい、沿道から声援を受けながら力走していました。また、ウォーキングの部では、周りの景色を楽しみながらゴールを目指す親子などの姿も見られました。

郷芸保存会が宝くじ助成金で太鼓整備

厚真郷芸保存会は、この度、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して太鼓を新たに整備しました。この事業は、同センターが全国自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として実施しているもの。

郷芸保存会は太鼓の保有台数が少なく、他団体から太鼓を借りながら活動していましたが、今回この助成金を活用して和太鼓を整備。練習・演奏環境が充実したことで、会員も張り切って練習に臨んでいます。



新たに整備した太鼓で演奏を披露する会員たち

ゆるキャラ®グランプリ今年も大健闘

ゆるキャラ®グランプリ2014の結果が11月3日、中部国際空港（愛知県常滑市）で発表され、厚真町公式キャラクターあつまるくんが、全国1,699体（企業枠を含む）の中で415位（ご当地キャラクターの中では313位）となりました。

今年は総得票数が4,381ポイントと、昨年の8,973ポイントより約半分となってしまいましたが、北海道内では72体中13位（昨年は66体中14位）となり、昨年より激戦の中で1つ順位を上げ、大健闘しました。

たくさんの応援や投票へのご協力ありがとうございました！

あつまるくんより
たくさんの応援と投票
ありがとうございました！



園児たちと一緒に遊戯の練習をする生徒

実習を通じ子どもの発達段階を学ぶ 厚南中3年生がこども園で保育学習

厚南中学校（村田宏文校長）の3年生9人が10月14日、こども園つみきを訪れ、保育学習を行いました。これは、総合的な学習（福祉・保育）と家庭科の保育授業の一環として、園児との交流を図り、子どもの発達段階を観察することを目的に行われたもの。

生徒たちは、フェルトのおもちゃ作りや小さな子どもとの接し方などを事前に勉強して来園。2～3人ずつ各クラスに入り、園児たちと一緒に絵本を読んだりオongoっこをしたりして交流しました。京町保育園の卒園生で、当時担任だった先生のクラスで実習を行った武田智希くんは「先生は昔と変わっていないなと思いました。子どもたちはみんな元気いっぱい楽しそうで、懐かしく思いました」と感想を話していました。

秋の火災予防運動で防火パレード

秋の火災予防運動に合わせて胆振東部消防組合厚真支署と厚真消防団による防火パレードが10月15日、厚真・上厚真の両市街地で行われ、消防職団員や地域住民などが参加し、火災予防を呼びかけました。

厚真市街地では、たすきをかけた消防団員や地域住民をはじめ、はっぴ姿のこども園つみき園児も参加。また、消防車両も後に続き、注意喚起を行いました。パレード終了後、厚真消防団の木村幸一消防団長は「火災のない明るい町をつくるため、一人ひとりが気をつけて年末を迎えましょう」と呼びかけていました。



市街地を行進して火災予防を呼びかけ



さまざまな品物を並べ特産品をアピール

おいしい特産品を販売「あつま特産市」

10月12日、あつま新鮮組主催の「あつま特産市」がホクレンショップ 苫小牧店前で開催され、買物客に厚真町の特産品をアピールしました。特産市では、新鮮野菜など町のさまざまな特産品を並べて販売したほか、新米をその場で精米して提供する催しなども行われました。

また、会場では「あつまっ子カフェ」も開催され、放課後子ども教室の参加児童たちが店員を務めました。あつまっ子カフェでは、子どもたちが作ったお米と農家の方から提供していただいた野菜を組み合わせたカレーセットを販売し、頑張りのかいあって見事完売しました。

厚真高校1年生が交通安全を呼びかけ

厚真高校1年生による交通安全街頭啓発活動が10月15日、本郷特産品広場前で行われ、沿道に並んで旗の波をつくったり、乗用車等のドライバーにティッシュを配って交通安全を呼びかけました。この活動は、街頭活動によって地域の通行車両に交通安全をアピールするとともに、生徒自らも事故に遭わないよう意識を高めることがねらい。

厚真駐在所の保里所長は「交通事故は車を運転する時だけでなく、自転車に乗っている時や歩いている時にも起こる。ルールを守り、事故に遭わない、事故を起こさないよう心がけてください」と話していました。



沿道に並んで旗の波をつくる生徒ら

北海道日本ハムファイターズ 2014厚真町応援大使交流イベント 矢貫俊之選手トークショーを開催！



厚真町の応援大使・北海道日本ハムファイターズの矢貫俊之選手が厚真町にやって来ます！
トークショーのほか、豪華プレゼントが当たる抽選会も開催！
ご来場をお待ちしています！

【日時】 11月25日（火）
開演 午後6時
（開場 午後5時30分）
【会場】 総合福祉センター

入場無料！
豪華プレゼントが当たる
抽選会もあります！

※抽選券の配布は午後6時までとさせていただきます。

たくさんの皆さんのご来場をお待ちしています！！

【主催】 厚真町
【問い合わせ先】 役場まちづくり推進課企画調整グループ（☎27-3179）

「児童扶養手当法」の一部が 改正されます

これまで、公的年金*を受給する方は児童扶養手当を受給できませんでしたが、平成26年12月以降は、年金額が児童扶養手当額より低い方は、その差額分の児童扶養手当を受給できるようになります。

児童扶養手当を受給するためには、申請が必要です。

(※) 遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金、遺族補償など



今回の改正により新たに手当を受け取れる場合

- ・お子さんを養育している祖父母等が、低額の老齢年金を受給している場合
- ・父子家庭で、お子さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合
- ・母子家庭で、離婚後に父が死亡し、お子さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合など

※受給している年金額が手当額よりも低いかどうかは、役場町民福祉課子育て支援グループへご相談ください。

新たに手当を受給するための手続き

児童扶養手当を受給するためには、役場町民福祉課子育て支援グループまたは役場上厚真支所への申請が必要です。

平成26年12月より前でも、事前に申請が可能です。

支給開始日

◆手当は申請の翌月分から支給開始となります。
ただし、これまで公的年金を受給していたことにより児童扶養手当を受給できなかった方のうち、平成26年12月1日に支給要件を満たしている方が平成27年3月までに申請した場合は、平成26年12月分の手当から受給できます。

◆平成26年12月～平成27年3月分の手当は、平成27年4月に支払われます。

【問い合わせ先】
役場町民福祉課子育て支援グループ ☎26-7871（直通）

第8回あつま国際雪上3本引き大会 参加チーム募集!

今年元旦にNHKの全国放送で紹介され、厚真町の冬の一大イベントとなった『あつま国際雪上3本引き大会』が、来年1月18日(日)にかしわ公園野球場(本郷)を会場に開催されます。

優勝賞金はなんと20万円!!また、豪華副賞もたくさんご用意しています。
ただいま、大会に参加する48チームを募集中!ぜひ、お友だちや職場の仲間同士などでチームを作ってください!

- 日時:平成27年1月18日(日)午前9時から受付
- 場所:かしわ公園野球場(本郷)
- チーム編成:競技者8人(うち1人は女性が参加)
チーム登録は最大16人まで
- 参加費:1人500円(昼食:そば、おにぎりを用意します)
- 参加申し込み
申込書に必要事項を記入し、12月19日(金)までに実行委員会(厚真町商工会)まで提出してください。(FAX、郵送、窓口可)
- 申し込み・問い合わせ先
あつま国際雪上3本引き大会実行委員会(厚真町商工会内)
(☎0145-27-2456 / ☎0145-27-3877)



フェイスブックで随時情報を更新中! <https://www.facebook.com/3tug.of.war>

厚真町教育委員会の臨時職員を募集します

厚真町教育委員会では、下記のとおり臨時職員を募集します。

- 職種 青少年センター図書管理職員
- 募集人数 1人
- 上限年齢 70歳(平成27年1月6日現在)
- 応募資格 ①原則として町内在住の方。
②簡単なパソコン操作のできる方。
- 勤務条件 【時間】火曜・木曜 午後5時15分～午後7時15分
土曜・日曜 午前9時～午後5時
【勤務日】祝日を除く火曜・木曜・土曜・日曜(2名交代制)
【賃金】時給820円
【勤務期間】平成27年1月6日～平成27年3月31日(延長更新する場合があります)
- 応募方法 履歴書(写真貼付のもの)を、教育委員会社会教育グループへ提出してください。(郵送可)
- 応募期限 平成26年12月5日(金) ※郵送の場合は同日消印のあるものまで有効
- 申し込み・問い合わせ先
〒059-1601 厚真町京町165番地の1
厚真町教育委員会 生涯学習課社会教育グループ (☎27-2495)



臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金 申請されましたか?

【締め切り日】平成27年1月30日(金)

臨時福祉給付金

- 【支給対象者】平成26年度分の町民税(均等割)非課税者の方が対象です。
ただし、次の方は対象外です。
①課税者の方に生活の面倒を見てもらっている場合
②生活保護の受給者である場合など

【申請書の提出先】役場町民福祉課(窓口・郵送) ☎26-7872 (平日 午前8時30分～午後5時30分)
※給付対象となる可能性がある方がいる世帯には、7月上旬に税務グループから申請書を郵送しています。

- 【添付書類】(本人確認書類) 運転免許証・健康保険証等の写し
(口座確認書類) 通帳・キャッシュカードの写し

子育て世帯臨時特例給付金

- 【支給対象者】次のどちらの要件も満たす方が対象です。
①平成26年1月分の児童手当・特例給付を受給されている方
②平成25年の所得が児童手当の所得制限限度額未満の方



◆◆◆ご協力とご来場を◆◆◆ 「歳末助け合いチャリティー即売会」

物を大切にする環境づくりを目指し、たくさんの町民の皆さんから寄付していただいている「歳末助け合いチャリティー即売会」を今年も開催します。
寄付していただいた物品は安価で販売し、即売会での収益金の一部を歳末助け合い募金に寄付します。
皆様のご協力とご来場を心からお待ちしております。

なお、今年度から、売れ残った商品の処分に費用が発生することから、精査の上ご協力いただきますようお願いいたします。

繊維リサイクルにもご協力をお願いします
繊維リサイクルとは、古衣料をウエス(工業用雑巾)に再生することです。「チャリティー即売会には古すぎてダメだけど、繊維リサイクル用としてなら良いかな」という衣料がありましたら寄贈ください。
回収ボックスは通年で、総合福祉センター、厚南会館、こども園つきみ、宮の森保育園(上厚真)の4カ所に設置しています。繊維リサイクルについてもご協力ください。

- と き 12月1日 月 午前10時～正午
- と ころ 総合福祉センター2階青年室

ご協力にあたってのお願い

- ◆衣類、運動用品、台所用品の寄付をお願いします(衣類については洗濯してあるもの)。
- ◆家電用品、家具など大きくて運びにくいものはお断りしています。
- ◆回収期間 11月19日(火)から11月26日(火)まで
- ◆回収場所 地区のコミュニティ推進員のお宅か総合福祉センターまで

問い合わせ先 同協議会事務局(役場まちづくり推進課企画調整グループ内・☎27-3179)

人のうごき

10月1日～10月31日届出分



マチの善意



(おことわり)
上記は、窓口などで、広報紙への掲載に
ついての確認ができた方を掲載しています。

キッズ12月の予定

子育て支援センター「ゆうゆう島」情報



月	火	水	木	金
1 開放日	2 開放日	3 びよびよ広場	4 乳幼児相談	5 開放日
8 Helloえいご 開放日	9 開放日	10 あそびの広場 『クリスマス ツリー』 ※前日までに予約してね!	11 開放日	12 開放日
15 Helloえいご 開放日	16 開放日	17 子育て講座 『骨盤ダイエット』 ※予約必要	18 開放日	19 開放日 ※園ホール開放日
22 開放日 ※クリスマス会準備のため午後休館	23 休館日	24 『クリスマス会』 ※予約必要	25 開放日	26 開放日
29 開放日	30 開放日 ※午後「玩具洗い」のため休館			

※水曜日の午後はサークル活動日☆お母さんたちの集まりの場にご利用ください。(予約必要)

※利用時間 10:00～11:30、13:00～16:00

※『あそびの広場』 10:00～11:30

1歳～就学前までのお子さんご家族が対象です。手遊び・ゲーム・製作など、季節の遊びも取り入れ、親子で楽しみましょう。

※『Hello えいご』 開催日の午前中

ALTの先生が来てくれます。遊びながら楽しく英語に触れることができます。年齢に関係なくお越しください!

※『びよびよ広場』 10:00～11:30

0～1歳までのお子さんご家族が対象です。お子さんを自由に遊ばせながら、親同士の情報交換の場としてご利用ください。

※開放日には、お気軽に遊びに来てください。

※電話相談(9:30～17:00)・来所相談(10:00～16:00)・予約、そのほかお問い合わせは☎27-2438(直通)子育て支援センターへ!!



ホツとひといき

『秋の日はつるべ落とし』と言いますが、最近、日暮れが早くなつたなあと感じます。日ごとに増す寒さも相まって、なんだか心寂しい気持ちになります。でも、秋は空気が澄んで月や星がきれいに見えるのがうれしいです。今年、9月8日の十五夜(中秋の名月)とスーパームーンに始まって、10月6日は十三夜(栗名月)、10月8日には皆既月食と、まさに「お月見イヤー」。私も、皆既月食の日には外に出て、刻々と変わる月の様子を楽しみました。

さて、今年はまだ1回目がありません。11月5日の「後の十三夜」。十三夜は旧暦9月13日に見られる月のことですが、旧暦は現在の暦に比べて日数が少なく、約3年に一度、閏月を入れて暦を調整しているそうです。それが今年で、9月の後に閏9月が入って旧暦の9月13日が2回になるため、十三夜も2回になる...とのこと。

「後の十三夜」が出現するのは、1843年以来、なんと171年ぶり!一生に一度かもしれない名月、皆さんは見ましたか?(佐)

「広報あつま」を読んでクイズに応募すると、正解者の中から抽選で5人に『図書カード』と『あつまくんコースター』をプレゼントします。

問題

10月8日に起こった、月と地球と太陽が一直線に並ぶことで起きる天文現象は何だったのでしょうか?

▶応募方法 ハガキかFAXで、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号と、広報や町のことについての意見・感想等を書いてください。

▶しめ切り(当日消印有効) 11月30日(日)

▶あて先 〒059-1692 厚真町京町120 厚真町役場 広報クイズ係 (FAX 27-2328)

【10月号の答え】 295人

【10月号の正解者】

10月号は12人応募で全員正解でした。抽選の結果、当選者には後日賞品を発送します。



クイズ・わかるかな?

みなさんの声をお寄せください

- ・こんな記事を読んでこう思った。
- ・こんな疑問を持っている。役場のみなさん教えてなどどんなことでも結構です。

紙面は無記名ですが、住所や氏名、性別、年齢は伺います。

●まちづくり推進課 電話 27-3179 FAX 27-2328



お子さんと一緒に『ヨガ体験』しませんか?

- ◆日時 11月20日(日) 10:00～11:30(集合9:50)
- ◆場所 児童会館(人数によっては「ゆうゆう島」になります。)
- ◆講師 佐々木 望さん(安平町)
- ◆対象 就学前のお子さんをお持ちの保護者の方
- ◆持ち物 大判のバスタオル(下に敷いて使用)
- ◆服装 動きやすく、ファスナー等が付いていないもの
- ◆参加人数 10人まで(先着順)
- ◆定員になり次第、締め切らせていただきます。

【お問い合わせ・申し込み先】
子育て支援センター
(☎27-2438)



サンタさんと一緒に楽しい『クリスマス会』

- ◆日時 12月24日(日) 10:30～11:15
 - ◆場所 子育て支援センター「ゆうゆう島」
 - ◆内容 パネルシアター、マジックショー、サンタさんと一緒に遊ぼう
 - ◆対象 0歳～就学前までのお子さん
 - ◆参加人数 20人まで(先着順)
 - ◆締切 12月12日(金)
- ※人数把握のため、必ずお申し込みください。
※定員になり次第、締め切らせていただきます。

子育て講座『骨盤ダイエット』

- ◆日時 12月17日(日) 10:15～11:15
 - ◆場所 子育て支援センター「ゆうゆう島」
 - ◆講師 マ・シエリ 藤田ゆかさん
 - ◆対象 就学前のお子さんをお持ちの保護者の方
 - ◆持ち物 汗ふきタオル、バスタオル
 - ◆締切 12月9日(日)
- ※人数把握のため、必ずお申し込みください。
※託児あり。必要な方はお申し込みください。

あつま未来箱・インターネットでの意見等受理状況

■受理状況 平成26年10月受理件数 1件(未来箱1件)

あつま未来箱は、厚真町役場本庁舎、総合ケアセンターゆくり、青少年センター、厚南会館、あつまクリニック、桂歯科クリニック、厚真歯科の町内6カ所に設置されているほか、FAXや厚真町公式ホームページ(電子意見箱)を利用することができます。

■いただいたご意見への回答

【ご意見】 5月から8月にかけて放送されている、農業用水路の事故防止の防災無線について、月が変わっても内容がずっと同じなため、8月後半になると内容が状況と合っていないと聞きづらく感じます。修正してはいかがでしょうか。

【回答】 農業用排水施設における事故防止対策については、地域住民の方へのご協力をお願いしたく、町防災無線で放送しています。ご指摘の放送内容については、十分に検討し来年度から放送していきたいと思っておりますので、事故防止対策にご協力をよろしくお願いいたします。(厚真町土地改良区)

■電子意見箱について

自宅から簡単に意見を投稿することができる「電子意見箱」が、町公式ホームページに設置されています。トップページの左側バナー欄に「町への意見」がありますので、ご利用ください。

【厚真町ホームページ】 <http://www.townatsuma.lg.jp/>

あつま未来箱・電子意見箱についての問い合わせ先

役場まちづくり推進課 企画調整グループ (☎27-3179)

みんなの広場



生徒会長小川くんによる歓迎のあいさつです



補助を担当した高校生と一緒にお菓子を作りました

厚高インフォメーション



184

ようこそ厚真高校へ
～中学生1日体験入学より～

さわやかな秋晴れの中、町内外の中学3年生と保護者・教員を対象に一日体験入学が行われました。40名の生徒と保護者・教員18名が参加。学校概要の説明や体験授業、部活動見学を通して厚真高校を知ってもらいよい機会です。

開講式では、校長のあいさつに続き、担当者が学校の概要を説明。教育課程や学習内容、高校生活の様子や進路実績などについて説明しました。その後、生徒会役員による行事紹介が行われ、歓迎ムードが一層高まりました。今年の中学生は例年以上に礼儀正しく、しっかりと話を聞いてくれる大変真面目な生徒が多いという印象でした。

続いて座学と実技を体験。事前の希望調査に基づき、座学では英語・国語・数学から一教科を、実技では家庭・体育・情報から一教科を選択し、それぞれの教室等で高校の授業を体験しました。数学では「カレンダーから考える数の不思議」、情報では「ホームページを作ってみよう」、家庭科では「ティラミス作りに挑戦してみよう」など、いずれも参加者の興味を引く内容で、「体験授業が楽しい内容で、とてもよかったです。」などの声が多く聞かれました。

在校生・職員一同、来年の四月、今回来てくれた皆さんとまた会えることを楽しみにしています。



上厚真小3年 伊勢 脩永くん(9)
「始めに筆が入るところに気をつけて書きました。最後の「とめ」のところがうまくできました。」



上厚真小3年 岡澤 祐太くん(9)
「いろんなゲームができる「ゲームちゃらすじいさん」です。ヒゲの形を整えるのが難しかったです。」

ぼくたちの作品

ぼくの・わたしの
クラスじまん

ともだちっていいな



紹介してくれたのは…
厚南中学校3年生の皆さん

(書いてくれたのは) 山崎 絵里奈さん

その153 厚南中学校



「仲間の大切さ」
私たち3年生は、男子3人女子7人計10人というとても人数の少ないクラスです。

9月にあった学校祭では、3年生を中心に全校の準備、学級の準備を進めてきたため、1人2役も3役もこなし、忙しい日が続いて大変でした。ですが、クラスの中で声を掛け合い、支えてくれる仲間のおかげで乗り越えることができました。私たちには、どの学年にも負けないことがあります。それは、「ダメなところはダメ、良いところは良い」など自分だけでは気づかないところを指摘し合うことが出来ます。少ない人数だからこそ、まわりのことを見てくれているという証だと思います。

私たちの学級目標は「十人十色」個性を生かし本気になるクラスです。個性を色に例えたとしたら十色できます。もちろん一人ひとりの色は、異なっていますが、そんな違う色を一色にできる「力」を持っています。「協力」「支える」2つの言葉。私たちは、ひとつの物事をみんなで協力し、誰かが困っていたら、まわりの人が支えてくれる。その支えがあって今の3年生の10人がいます。

卒業まで、この2つの言葉を大事にしていきたいです。

文芸あつま ◆短歌◆

三匹の猫に囲まれ座す私のスペース狭まり足縮めをり
冬到来北国育ちの我なるに寒さ身にしむ齢となりぬ
あらためて今の幸せかみしめて夫と暮らせる日々大切に

(上野 宮崎 静恵)
(宇隆 加賀谷 明美)
(本郷 湯浅 悦子)

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十九号』から抜粋)

直撃インタビュー Vol. ③

〇〇先生を紹介します!

回答

- ① 小樽市・B型・やぎ座
- ② 初心忘るべからず
- ③ 歌手
- ④ 【得意】算数 【苦手】社会
- ⑤ 1年目
- ⑥ 厚真の人たちが厚真を愛しているところ
- ⑦ 【趣味】札幌で買物すること 【特技】スノーボード
- ⑧ 生ちらし、焼肉
- ⑨ 旅行雑誌(じゃらん)。映画はあまり見ません。
- ⑩ 日本の将来をよろしく願います!!

質問

- ① 出身・血液型・星座
- ② 座右の銘
- ③ 小さい頃の夢
- ④ 得意・苦手だった教科
- ⑤ 厚真に来て何年目
- ⑥ 厚真の良いところ
- ⑦ 趣味・特技
- ⑧ 好きな食べ物
- ⑨ 好きな本または映画
- ⑩ 子どもたちにひと言

上厚真小学校



のみやきみよ 野々宮 規美代 先生



ほけんの掲示板 12月



乳幼児健康相談

とき 4日(木)
ところ 子育て支援センター 10:00~11:30
対象者 H25.9月~H26.10月生まれのお子さん
持ち物 母子健康手帳、バスタオル

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 22日(月)、24日(水)~26日(金) ※25日(木)午後は休診です
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00~11:30、14:00~16:30)
対象児 ①生後12カ月~24カ月までのお子さん
②H20.4.2~H21.4.1生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)
※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。
持ち物 ①②の方: 母子健康手帳、印鑑

水痘(水ぼうそう)予防接種

とき 毎週 月曜日~金曜日
(木曜日午後と祝日は休診です)
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00~11:30、14:00~16:30)
対象児 ①生後12カ月~36カ月に至るまでのお子さん
②生後36カ月~60カ月に至るまでのお子さん
(※②は平成26年度までの経過措置)
標準的な接種時期と接種間隔
【対象①】 初回接種(1回): 生後12カ月~15カ月
追加接種(1回): 初回接種後6~12カ月後
【対象②】 接種対象期間内に1回接種
※①②ともに、既に罹患済みの場合や既定の回数を接種済みの方は対象外です。
※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。
持ち物 母子健康手帳、印鑑

【年末年始休業のお知らせ】 あつまクリニックは、12月29日(月)午後から1月4日(日)まで休診です。

四種混合予防接種 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)

対象児 生後3カ月~90カ月までのお子さん
標準的な接種時期と接種間隔
※初回接種(3回): 生後3カ月~12カ月に20日~56日の間隔で3回。
※追加接種(1回): 初回接種終了後から12カ月~18カ月後に1回。
※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。
※三種混合予防接種を終了されていない場合は、町保健師にご相談ください。

小児マヒ(ポリオ)予防 不活化ワクチン接種

対象児 生後3カ月~90カ月までのお子さん
※不活化ポリオワクチンは初回接種3回、追加接種1回、合計4回の接種が必要です。
標準的な接種時期と接種間隔
※初回接種(3回): 生後3カ月~12カ月に20日~56日の間隔で3回。
※追加接種(1回): 初回接種終了後から12カ月~18カ月後に1回。
※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。
予約 要事前予約 電話可(接種希望日の1週間前まで)
予約先 町民福祉課 健康推進グループ(☎26-7871)

ヒブ感染症※1・小児肺炎球菌 感染症※2 予防接種

対象児 生後2カ月~60カ月に至るまで
標準的な接種時期と接種間隔
【※1・2共通】 初回接種開始: 生後2カ月~7カ月
【※1の追加接種】 初回終了後、7~13カ月
【※2の追加接種】 生後12カ月~15カ月
※上記以外の方は、町保健師にご相談ください。

上記の予防接種の「とき」「ところ」「受付」「持ち物」については、すべて下記のとおり(共通)です。

とき 毎週 月曜日~金曜日
(木曜日午後および祝日は休診です)
ところ あつまクリニック
受付 接種希望当日に、町民福祉課で受付を行ってください。(受付時間 9:00~11:30、14:00~16:30)
持ち物 母子健康手帳、印鑑

今月の担当
保健師
中井 佳子

お肌を乾燥から守りましょう

冬本番が近付き、お肌の乾燥が気になる頃です。気が付くと肌が白い粉を吹いたようになったり、かゆみで傷だらけのお肌になったりしていることも…。
今月は、冬場の乾燥の時期を快適に過ごす方法を考えてみましょう。

冬に肌が乾燥する訳

冬に肌が乾燥する要因としては、次のようなことが挙げられます。

- ①空気が乾燥し、温度が低くなり、水分が失われやすい。
- ②新陳代謝が低下して、古い角質が残ってしまう。
- ③運動量が減って皮脂や汗の分泌量が減る。
- ④お風呂の温度が熱い。

乾燥したお肌は、見た目だけでなく、皮膚表面の角質層といわれる部分に小さな「ひび割れ」ができています。

角質層は、外界からの刺激や異物の侵入から体を守る大事な機能を果たしていますが、ひび割れてしまった角質層ではバリアとしての役割を十分に果たすことが難しくなります。そうすると、アレルギーなどの外敵がどんどん体の中に入ってきたり、刺激に敏感になったりして、わずかな刺激でもかゆみを感じてしまうようになります。

体の中と外から 乾燥予防

①水分補給をこまめに行いましょう

人肌程度の水をこまめにとりましょう。アルコールや甘い飲み物などは、逆に水分の蒸発を促進してしまいます。アルコールを飲んだ後は、必ずお水を補給することを忘れないようにしましょう。



②ぬるめのお風呂に入りましょう

熱いお湯につかると肌が乾燥しやすくなります。ぬるめのお湯(39~41℃)は副交感神経が優位になってリラックスでき、かゆみを抑える上でも効果的です。

また、時間も15分くらいにとどめるとよいでしょう。洗うときは強くこすらず、せっけんや洗剤を十分に泡立て、手で洗いましょう。



③お風呂上がりに保湿しましょう

入浴直後は皮膚の水分量が多い状態ですが、20分くらいで水分が入浴前より少なくなります。皮膚が乾燥しやすい人は、5分以内に保湿剤を塗りましょう。保湿剤にはいろいろなタイプがありますが、カサカサに荒れている場合は、ワセリンなどの油脂が多い軟膏タイプがよいでしょう。



入浴後以外の場合は、化粧水などで水分を補ってから、肌にふたをするように塗るとよいでしょう。

④下着類は刺激の少ない素材を選びましょう

下着類は、ウールやナイロン製を控え、刺激の少ない木綿製などを選びましょう。

⑤寒さ対策を工夫しましょう

防寒着などを活用して、暖房温度を低めに設定し、長時間使用を控えるようにしましょう。電気毛布は乾燥を促進してしまいません。寝るときも着る肌着などで調節しましょう。

⑥湿度を保ちましょう

暖房器具を使うときは、加湿器も併用して乾燥をなるべく防ぐようにしましょう。加湿器の代わりに、室内に洗濯物や湿ったタオルを掛けておくのもよいです。

⑦角質層の主成分「セラミド」を多く含む食品をとりましょう

セラミドは、野菜・果物・海藻・イモなどに多く含まれています。炭水化物、脂肪もセラミドの生成に必要なので、バランスの良い食生活を送ることが基本です。

皮膚の炎症やかゆみ強い時

今月のつづき

季節の変化が肌の乾燥で敏感に感じられるように…。
年々保湿の重要性を実感しています。



は、医療機関に相談しましょう。症状が治まり、皮膚の状態が改善したら、保湿剤でスキンケアしましょう。

苫小牧市夜間・休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜日	受付時間	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。
月曜日~金曜日	19:00~翌朝7:00	【住所】 苫小牧市旭町2-9-2
土曜日	14:00~翌朝7:00	☎0144-35-0001
日曜日・祝日	9:00~翌朝7:00	☎0144-35-9099

「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。

【ホームページ】 <http://www.toma-med.or.jp>

また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。

【携帯電話用URL】 <http://www.toma-med.or.jp/phone/>

※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承願います。

日程	区分	病院名	住所(苫小牧市)	電話番号(0144)	【診察時間】9:00~17:00 当番医は変更になることがあります。新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。
7日(日)	内科系	浪岡内科消化器科クリニック	東開町4-20-18	51-2811	【お知らせ】 『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。
	外科系	にしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43	71-1100	
14日(日)	内科系	吉川医院	表町5-2-3	34-4565	【ホームページアドレス】 http://www.qq.pref.hokkaido.jp
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221	
21日(日)	内科系	滝上循環器科内科クリニック	泉町2-5-4	37-8011	【電話】 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000	
23日(火・祝)	内科系	とまこまい北星クリニック	拓勇東町4-4-6	57-8000	【電話】 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
	外科系	苫小牧泌尿器科・循環器内科	明野新町2-1-12	57-0455	
28日(日)	内科系	錦岡医院	宮前町2-33-4	67-0013	【電話】 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
	外科系	苫小牧東部脳神経外科	北栄町2-27-12	53-5000	
31日(水)	内科系	いまい内科クリニック	双葉町1-4-2	37-8686	【電話】 フリーダイヤル 0120-20-8699 携帯電話・PHSからは 011-221-8699
	外科系	ハート整形ペインクリニック	三光町2-5-3	38-7000	

年末調整

勤務先に諸控除の申請を

給与所得者の所得税及び復興特別所得税は、通常、事業所が行う年末調整で精算されます。平成26年中に扶養親族などに異動があった方や保険料(生命、地震など)を支払った方は、諸控除の申告書を勤務先に提出してください。

詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。
【国税庁ホームページ】
http://www.nta.go.jp

問い合わせ先

苫小牧税務署 (☎0144-32-3165)

相談

「困りごとなんでも特設相談所」を開設します

苫小牧人権擁護委員協議会では、人権週間(12月4日〜10日)期間中、次の日程で「困りごとなんでも特設相談所」を開設します。

毎日の生活の中で、いじめ・差別、家庭内での暴力、職場での嫌がらせ、ストーカーや不動産・金銭のトラブル、相続・戸籍など法律の内容がわからない

などの困りごとがありましたら、お気軽に相談ください。相談は無料で、秘密は厳守します。

日時

12月5日(金)

午後1時〜午後4時まで

場所 総合福祉センター 第1会議室

相談員 厚真町人権擁護委員

お問い合わせ先

札幌法務局苫小牧支局 (☎0144-34-7151)

お願い

住宅用太陽光システム設置予定者調査を行います

町では、来年度も住宅用太陽光発電システム(10kw未満)を設置される町民の方に、補助金を計画しています。

町内業者設置の場合は、1kwあたり10万円で、上限額が30万円、町外業者設置の場合は、1kwあたり7万円で、上限額が20万円となっています。

来年度予算へ計上するため、設置予定者の把握調査を行います。来年度中に設置を予定されている方は、期日までにご連絡をお願いします。

報告期日

11月28日(金)

問い合わせ先

役場建設課建築住宅グループ (☎27-2325)

地デジ支援

地デジ難視対策の各種申し込みは早めに!

国が実施している地デジ難視対策のための各種支援制度は、平成27年3月末をもって終了します。

期限までに地デジ対策工事を完了するためには、遅くとも本年12月中の申し込みが必要ですので、お早めの申し込みをお願いします。

問い合わせ先

総務省地デジコールセンター (☎0570-07-0101)

検査

HIV抗体検査(夜間)を実施します

12月1日は「世界エイズデー」です。世界エイズデーとは、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、1988年に世界保健機関(WHO)が定めています。

苫小牧保健所では、世界エイズデーに合わせて、通常、月3回実施している日中のHIV抗体検査に加えて夜間検査を実施します。

エイズはHIVウイルス感染による病気で、性行為などで感

染する可能性があります。感染者は年々増加していますが、感染しても自覚症状がないため、検査を受けないと感染に気づきません。

検査の予約や相談は、エイズ相談専用電話にご連絡ください。

日時

12月2日(火)

午前9時〜午後7時30分

場所 苫小牧保健所

内容 HIV抗体検査(迅速検査)

申し込み・問い合わせ先

苫小牧保健所エイズ相談専用電話 (☎0144-35-7474)

情報

パソコン講習を行っています

苫小牧地域職業訓練センターでは、毎月パソコン講習を企画しています。

1月は初級者向け2コース(インターネットの検索とメール、ワード初級)、中級者向け1コース(エクセル初級)、上級者向け2コース(ホームページ作成、ワード2級検定対策)の計5コースを実施予定です。

講習日程・受講料など 詳しくは、苫小牧地域職業訓練センターまでお問い合わせください。

12月の運転免許証更新時講習の日程

苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。
◆午前10時30分: 1日(月)、3日(水)、4日(木)、5日(金)、開講 9日(火)、11日(木)、17日(水)、19日(金)、22日(月)、25日(木)、26日(金)
◆午後1時30分開講: 2日(火)、12日(金)
◆午後3時30分開講: 15日(月)、18日(木)
※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。
※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方です。
■問い合わせ先 (株)苫小牧地区交通安全協会 (☎0144-33-1458)

お問い合わせ先

苫小牧地域職業訓練センター(ホームページ)
http://www.tomakomai.ac.jp/ (☎0144-55-6622)

お知らせ

貸切バスの運賃・料金制度が新しくなりました

国土交通省では、平成24年に発生した高速ツアーバス事故で浮き彫りになった貸切バス市場の構造的な問題改善の一環として、平成26年4月1日から新た

厚真町

職員採用資格試験(保健師)

■募集職種・人員 保健師 1名

■受験資格

- ①保健師の資格を持っている方で、昭和50年4月2日以降に生まれた方。
②普通自動車免許を有する方、または採用時まで取得見込みの方。

※居住要件 採用後、厚真町内に居住できる方。

●次のいずれかに該当する場合は受験できません。

- ・日本の国籍を有しない方。
・地方公務員法第16条(欠格条項)・成年被後見人または被保佐人、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの方(ほか)に該当する方。

■試験の方法

- 1. 適性検査 2. 論文 3. 面接

■試験日・会場および合格発表

- ・期 日 平成27年1月上旬(別途通知)
・会 場 厚真町役場
・合格発表 受験者へ1月末までに合否を通知します。

■受験手続きおよび受付期間

- ①提出書類等
・試験申込書
・履歴書(町指定の様式に自筆で記入し、最近6カ月以内の無帽の上半身の写真を貼付)

【お願い】履歴書内の電話番号は急な連絡が必要になった場合に備え、携帯電話の番号を極力お書きください。

- ・業務経験調書(町指定の様式に限る。社会人業務経験がある場合のみ提出)
・面接カード
・資格証明書の写し(保健師)
・写真1枚(受験票貼付用として、縦4cm・横3cmで最近6カ月以内の無帽の上半身の写真)
・返信用封筒1通(本人の住所・氏名を記入し、82円切手を貼付)

※試験申込書、履歴書、業務経験調書等は役場総務課で交付するほか、厚真町ホームページからもダウンロードできます。
(http://www.town.atsuma.lg.jp/)

②受付期限

12月26日(金)までの期間で、午前9時から午後5時まで受け付けます(土曜、日曜、祝日は休みです)。郵送の場合は、12月26日(金)の消印があるものまで有効です。

■受け付け・問い合わせ先

厚真町役場 総務課総務人事グループ
〒059-1692 勇払郡厚真町京町120番地
☎0145-27-2322

■合格から採用まで

- ①合格者は任用候補者名簿に登録され、採用の予定です。
②任用候補者名簿は、平成27年4月1日以降の採用に対するもので、1年間有効です。

な貸切バスの運賃・料金制度を実施しました。
貸切バス事業の経営には、人件費、燃料費、車両点検修繕費、保険料等の経費がかかります。
新しい運賃・料金制度は、貸切バス事業者がこれらの安全に関わるコストを適切に反映した運賃・料金を収受することにより、安全・安心な貸切バスによる輸送サービスの提供を確保することを目的としています。
今後より安全・安心な貸切バス運行に向けてご理解とご協力をお願いします。
北海道運輸局自動車交通部

人も、会社も、もっと元気に!
中退共済制度
◆掛金の一部を国が助成
◆掛金は全額非課税。手数料も不要
◆外部積立型なので管理が簡単
◆パートさんの加入もOK
詳しくはホームページへ
中退共 検索
(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

客第一課専門官 久保田(☎011-290-2741)
11-290-2704
FAX 011-290-2704

パン教室のご案内「豆パン」



厚真の豆を4種類使った豆パンを作ります。もう1つ作るパンは、12月はエビ、1月はドライフルーツ入りです。

なお、今回のご案内をもってパン教室は終了します。ご参加をお待ちしています。
※自家製酵母を使って捏ねる作業もあります。捏ねた生地は持ち帰って、お家で発酵・成形して焼いてください。

- 【日時】どちらも午前10時〜12時
■豆パンとかぼちゃの種エビ
12月9日(火)・12月11日(木)・12月13日(土)
■豆パンとドライこくわパン
1月13日(火)・1月15日(木)・1月17日(土)

【定員】各回5名
【場所】厚真町地域おこし協力隊 活動拠点「サンマルゴ」厚真町本郷305-2(旧セブンイレブン)
【持ち物】エプロン、ふきん、ボウル(直径22cmくらい)
【参加費】1,000円
【パン指導】厚真町地域おこし協力隊 特産品開発支援員 高田真衣

【申し込み・問い合わせ】
役場産業経済課 (☎27-2486)
※お子さんをお連れの方はお知らせください
【支援員ブログ】http://atmtshk.blog.fc2.com/



かねこ そうた
金子 聡汰くん



さかもと りりあ
坂本 梨理愛ちゃん



まちのアイドル ☆ 379 ☆



もとき ゆい
本木 結ちゃん



ぬまた かずま
沼田 一真くん